
■■■ 福祉社会学会 ニュースレター 第 38 号 ■■■

Japan Welfare Sociology Association Newsletter No.38

<http://jws-assoc.jp/>

E-mail: ws@univcoop.or.jp

***** INDEX *****

- 福祉社会学会・第14回大会 テーマセッションのテーマと
コーディネーターの募集について (2月28日締切)
 - 福祉社会学会・第14回大会 自由報告の募集について
(4月15日申込締切予定)
 - 福祉社会学会・研究会のご案内
 - 会員の刊行書籍情報の追加募集について
 - 理事会報告
 - 事務局からのお知らせとお願い
-

■福祉社会学会・第14回大会 テーマセッションのテーマと
コーディネーターの募集について

福祉社会学会・第14回大会(2016年、開催校=奈良女子大学)では、前回大会と同様に、テーマセッションを公募することとなりました。テーマセッションにおいては、一般性の高いテーマを扱うシンポジウムとは異なり、コーディネーターの方を中心に福祉社会学における特定のテーマを多様な角度から議論していただきます。このテーマセッションのテーマとコーディネーターを下記の要領で募集します。大会は6月18日(土)・19日(日)、奈良女子大学(奈良市北魚屋東町)にて開催される予定です。なお、部会編成の都合上、発表日時のご希望には応じかねますのでご了承ください。

- ①テーマセッションは、今号ニュースレターでテーマとコーディネーターを募集し、採択されたテーマについて2月下旬発行予定のニュースレターで報告者の募集を行い、コーディネーターの調整によって報告者を決定して設置されるものです。調整の結果不採択となった場合や、部会が成立しなかった場合も、報告希望者は大会の他の自由報告部会で報告していただくことができます。
- ②コーディネーターには、報告者・報告順の決定に加え、当日の司会を行っていただきます。テーマ採択の決定、報告者の募集などについて3月10日前後にお知らせします。
- ③コーディネーター希望の方は、下記の事項を電子メールで、以下の要領でご応募ください。
 - 締め切り: 2月28日(日)

- 申し込み先アドレス : fukushi_syakai_taikai_entry-group★keio.jp(←★を@に変えてください)
- 応募事項 : 「テーマセッション・コーディネーター申込み」と明記のうえ、下記の事項をもってご応募ください。
 - ・所属
 - ・連絡先 (住所・電話番号・電子メールアドレス)
 - ・テーマ (そのまま部会名となります)
 - ・部会趣旨 (800 字程度。採択された場合は、報告者募集のニューズレターに報告者募集用原稿としてそのまま掲載されます。)

④テーマセッション申し込みをされた方に対しては、受理通知を電子メールで返信します。2月29日(月)までに返信がない場合は、稲葉昭英(ainaba★flet.keio.ac.jp (←★を@に変えてください) または、03-5427-1159)にご連絡ください。

■福祉社会学会・第14回大会 自由報告の募集について

第14回大会は6月18日(土)・19日(日)に奈良女子大学で開催されますが、例年通り自由報告を募集します。本大会における自由報告の申し込みは、3月下旬に発行する学会ニューズレターにて説明を行い正式に募集いたしますが、申込書と予稿集の提出締め切りは4月15日(金)の予定です。今回の大会から申込書と予稿集の提出の締め切りが同一日程に設定されていますので、ご注意ください。なお、申し込みは電子メールのみの受け付けとなりますので、あらかじめご了解ください。

また、電子メールでニューズレター配信を受けておられる会員の方々には、3月下旬に発行する学会ニューズレターは通常どおりメール配信のみとなります(郵送されません)。自由報告申し込みを検討される場合は、この時期のメールおよび本学会のWEBページに掲載される大会WEBページ(3月下旬に更新予定)にご注意いただき、締め切りなどのお見落としのないようお願いいたします。

学会WEBページのURLは次の通りです。<http://jws-assoc.jp/>

■福祉社会学会・研究会のご案内

福祉社会学会では、下記の通り研究会を開催します。奮ってご参加ください。

●第46回 福祉社会学会研究会

「トランスナショナルな福祉社会は可能か? ——シティズンシップとその外部——」

□日時: 2016年2月22日(月) 14:30-17:30

□場所: 中京大学名古屋キャンパス 1号館5階 15D教室

交通アクセス <http://www.chukyo-u.ac.jp/information/access/h1.html>

キャンパスマップ <http://www.chukyo-u.ac.jp/information/facility/g1.html>

□参加費： 無料

□主催： 福祉社会学会・中京大学社会学研究科

□趣旨：

社会学はこれまで国ごとの制度や運動を研究対象とする場合が多かった。国内／国外／国際といった枠組みを暗黙の前提としてきたのである。しかし社会学、とりわけ福祉社会学の主要な課題である貧困や社会的排除を考える際、国境を越えて移動する人々の存在を無視することは、グローバル化の時代と称される今日不可能である。そしてそうした人々の福祉のあり方は、「国内」の人々、とりわけ従来「二級市民」として扱われてきたマイノリティのそれと無関係ではありえないこともまた、明白になりつつある。

こうした問題意識のもと、本研究会ではシティズンシップや社会的排除／包摂の現在と今後について、理論・歴史的研究と経験的研究を架橋することを展望しながら、二人の気鋭の研究者に報告いただき、議論を深めていきたい。

□報告者：

昔農英明： 専攻は国際社会学。近著に『「移民国家ドイツ」の難民庇護政策』慶応義塾大学出版会、2014年。明治大学。

寺田晋： 専攻はグローバル・ヒストリー、社会思想史。近著に『「共同生存」の国際移住論——国際私法学者山田三良の国際移住観』『年報政治学』2014年1号。札幌学院大学非常勤。

□問合せ先： 亀山俊朗（中京大学） t-kameya★sass.chukyo-u.ac.jp(←★を@に変えてください)

■会員の刊行書籍情報の追加募集について

『福祉社会学研究』第13号刊行に向けて、会員のみなさまの活動状況を広くお知らせするために、2015年1月～2015年12月末までに刊行されたみなさまの単著、編著等の書籍情報（雑誌掲載論文等は除く）について、その情報（著者、書籍名、刊行時期、出版社）を、編集委員会までお知らせください（jws-henshu★hes.kyushu-u.ac.jp ←★を@に変えてください）。学会ウェブサイトですすでにお知らせしておりますが、追加募集を行います。

情報提供の締め切りは、2016年2月29日（月）17時00分までとします。

■理事会報告

●福祉社会学会・2015年度・第2回理事会の議事録（一部省略）

日時 2015年12月26日（土） 14時00分～16時40分

場所 上智大学（東京都千代田区紀尾井町7-1）

出席者：藤村、平岡、鎮目、稲葉、高野、井口、上野、亀山、菊池、須田、寺田、三重野、山田

●報告事項・審議事項

開催に先立ち藤村会長の挨拶が行われた。

1. 稲葉研究委員長より第1回委員会と第1回研究会の開催状況が報告された。協議事項として、第14回大会が2016年6月18日(土)・19日(日)に奈良女子大学で開催予定であること、開催校企画シンポジウム案などが提起された。また、次回大会から、学会大会時の口座開設、予稿集の作成などを研究委員会でを行うこととなったが、状況に応じて外部委託についても検討する旨が了解された。そのほか、視覚障害のある会員に対する情報提供を研究委員会でを行うが、必要に応じて学会としての対応を検討することとなった。
2. 井口研究委員より、第14回大会の大会シンポジウム(兼開催校シンポジウム)を「福祉×α：創造的活動との接点から福祉社会を考える」(案)として、報告者等の人選を進めていることなどが報告された。
3. 高野編集委員長より学会誌第13号の編集状況について、投稿論文の査読が進んでいること、特集論文、書評論文の編集作業が進んでいることなどが報告された。協議事項として、学文社との刊行契約について、刊行時期の変更(年度末刊行から入稿から3か月以内刊行への変更)、電子ジャーナル化への対応などについて審議が行われた。また、新たな取り組みとして、学会研究会や大会テーマセッションなどと共通のテーマを設定して投稿を呼びかけるテーマ型投稿論文を募集することが了解された。
4. 社会学系コンソーシアム担当理事の須田理事より、社会学系コンソーシアム主催シンポジウム開催案内と会員への情報提供について報告された。
5. 社会政策関連学会協議会担当理事の三重野理事より、協議会の開催状況と「研究倫理に関する学習会」の開催について報告がなされた。また、2016年5月14日にシンポジウム・「地域の魅力を考える一仕事と暮らしを支える社会政策とは」が開催予定である旨が伝えられた。そのほか、参与協議員として平岡理事、協議委員として三重野理事、平野研究委員が任命された旨が共有された。
6. 山田学会賞選考委員長より、選考委員の人選を次回理事会までに行う旨の報告がなされた。
7. 鎮目庶務理事より事務局報告があった。①第13回大会(開催校：名古屋大学)の会計報告が承認された。②入会希望者1人の入会が承認された。
8. 第15回大会の候補校について意見交換を行い、次回の理事会で開催校案を決定することが承認された。
11. 次回各種委員会と理事会を2016年6月18日(委員会、10:30~11:30、理事会、11:30~13:00)に奈良女子大学にて開催予定とすることを決定した。

■事務局からのお知らせとお願い

- 学会ホームページのアドレスは <http://jws-assoc.jp/> です。
- 福祉社会学会では、メーリングリストやホームページでの情報発信を進めております。御住所やEmail アドレスを変更された場合は、必ず大学生協・学会支援センター・福祉社会学会担当までお知らせください(メール

アドレス ws@univcoop.or.jp)。

毎年、年度末になりますと多数の不着が発生しますので、Newsletter を受信できていない会員にお気づきの際は、お手数ですが学会アドレスまでご連絡くださいますようお願いいたします。

・今回の大会では、研究委員会からの要請により、プログラムは郵送ではなくメール配信とWeb掲載のみとすることを予定しています。時間と費用の節約のためです。なにとぞご理解をお願いします。

【発行・編集】 福祉社会学会事務局